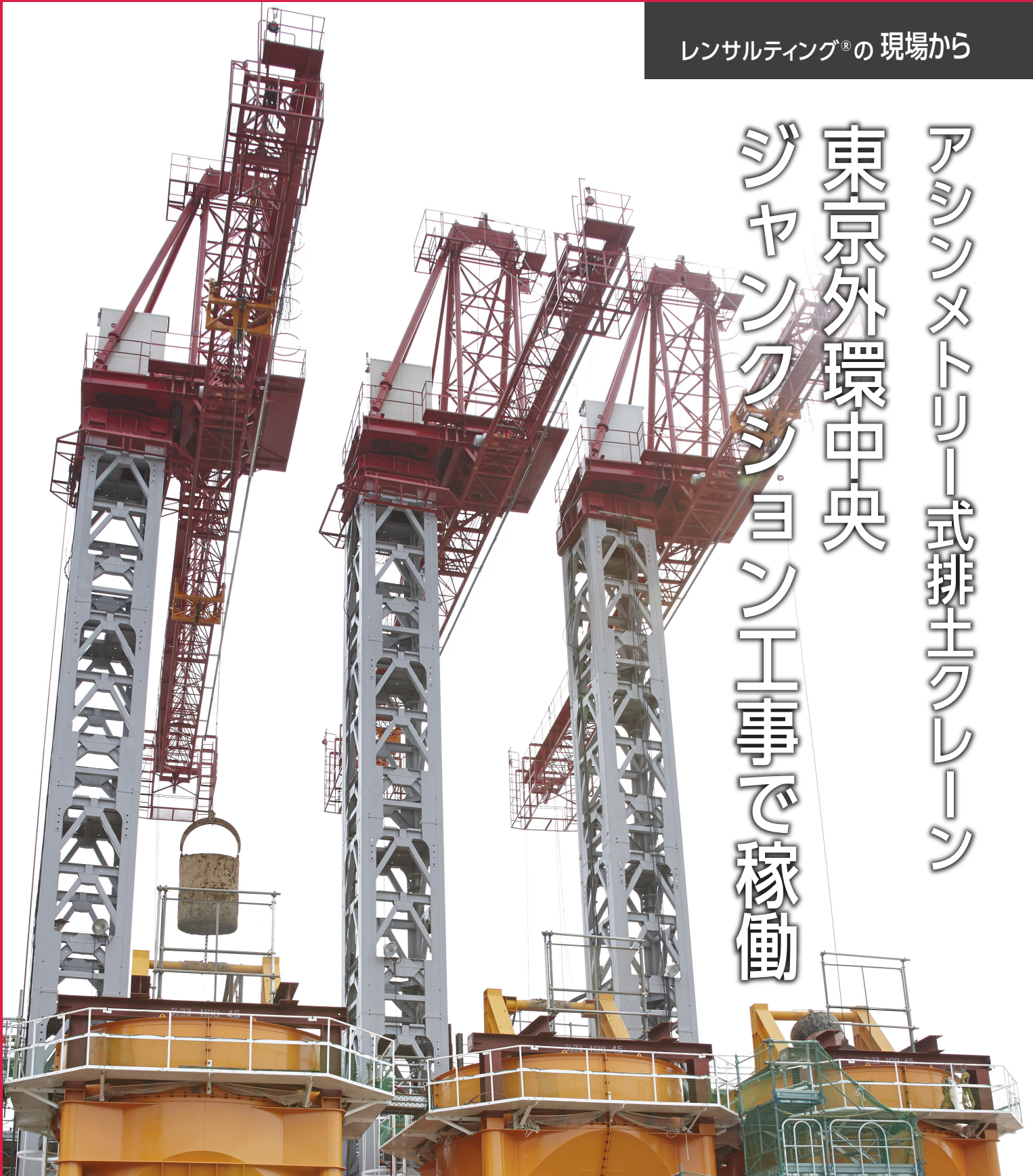


レンサルティング®の現場から

アシンメトリー式排土クレーン

東京外環中央

ジャンクション工事で稼働





ケーソン作業風景



排土作業風景



土砂ホッパーとアシンメトリー式排土クレーン

東京外環中央ジャンクション 工事で活躍!

アシンメトリー式排土クレーン「AS-2920」が、東京都三鷹市の東京外環中央ジャンクション北側ランプ改良工事に本格的に稼働を開始しました。

本作業所では、H立坑、A立坑、H-1ケーソン、と3つのケーソン（函）をニューマチックケーソン工法*により地中30m～40mの深さに据付ける工事で、アクティオの「AS-2920」を採用していただきました。

排土クレーンは、ニューマチックケーソン工法で使用される排土用の設備で、なかでも弊社の扱う「ASシリーズ」は、タワークレーンで使用されているマストを柱としており、荷を移動させるためのジブをマストを中心に、左右どちらにでも取り付け可能であることが最大の長特です。これにより、移動した吊荷はジブ先端よりマスト横を通して後方へ移動させることが可能になりました（特許第5243650号）。

当作業所では、排土設備をケーソン側に寄せて設置することで、クレーン後方に大型車両の通路および効率の良い作業スペースの確保ができるという点を評価頂き、合計7基採用されています。

本機の基礎工事はH鋼杭の上端を切り揃え、その上に工場で加工したブラケットを取り付ける工法を採用。さらに作業所様からの要望により、SMWで使用されていた特殊杭に対してもこれまでの設計技術を活かし、新規で杭ブラケットを製作し取り付けを行いました。

クレーン自体は作業用のメイン通路とそのすぐ脇に設置するため、組立施工前の打合せを入念に行い、作業所様の協力を頂きながらご要望通りの短期間・短時間で組立作業を終えることができました。さらに当作業所が閑静な住宅街に位置した大型現場である部分も踏まえ、巻き上げ機部分に防音ボックスを取り付けることにより、近隣への騒音にも配慮してあります。

また、30mの本体に容量増アタッチメントを取り付けた50mの土砂ホッパーを初めてレンタル商品として採用。排土クレーンとセットでご使用頂いています。



*ニューマチックケーソン工法：あらかじめケーソン下部に作業室を設け、その中に圧縮空気を送り込んで気圧の高い状態にし、この圧気によって水や泥の流入を防止して掘削作業を行い、所定の深さまでケーソンを沈設する工法。

ケーソン管理室風景

お客様より

現場は閑静な住宅街にありますので、近隣住民の皆様のご理解・ご協力を得ながら工事を進めています。そのためには、音が出ない機械であること、敷地が広くないので一般的な機械よりコンパクトであることが重要です。アクティオさんへお願いしたのは、そういった条件を満たす機械を保有しているからです。今回導入した7基のうち、実に6基を新規製作していただき納めてもらうなど、大変助かっております。また、定期点検以外にもこまめに現場に来て頂いており、安心して使っています。

今後も私たち大林組の意見を吸い上げてもらい、必要に応じて改良を加え、さらに進化した機械を現場に反映して頂きたいと思っております。



東京外環中央 JCT北側ランプ改良工事
大林・大本特定建設工事共同企業体
外環中央北ランプJV工事事務所
工事長（ケーソン担当）
八木 純樹 様



東京外環中央 JCT北側ランプ改良工事
大林・大本特定建設工事共同企業体
外環中央北ランプJV工事事務所
工事長（機電担当）
中嶋 徹 様

アクティオ担当者より

今回で2現場目となるアシンメトリー式排土クレーン「ASシリーズ」ですが、開発にあたって多くの方々にご協力を頂き、また本作業所におきましては組立時より多大な協力を頂くと同時に、貴重なご意見を数多く頂戴いたしました。この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。

今後とも、より一層使い勝手の良い機械にしていき、ニューマチックケーソン工事の一助として、安心してお借り頂けるよう社員一同精進して参ります。



株式会社アクティオ
クレーン事業部
副事業部長
堀内 昭夫 様



株式会社アクティオ
クレーン事業部
技術部長
松原 譲司 様

■工事概要

工 事 名 東京外環中央 JCT北側ランプ改良工事
工 事 場 所 東京都三鷹市北野3丁目～1丁目
工 事 期 間 平成27年3月17日～平成30年3月25日
発 注 者 国土交通省関東地方整備局 東京外かく環状国道事務所
請 負 者 大林・大本特定建設工事共同企業体



高所作業車搭乗風景



受付風景



比例制御遠隔による操作可能なグラップルの実演



根こそぎ切るソー・ハーベスタ展示風景



スタッフ集合写真

2016森林・林業・環境機械展示実演会に出展しました

10月9日(日)、10日(月)、京都府福知山市三和町 長田野工業団地 (アネックス京都三和) にて開催された「2016 森林・林業・環境機械展示実演会」に出展しました。

出展社数は前回よりも多い65社で、林業機械や環境関連機械など500機種以上が出品され、展示・実演が行われました。アクティオでは、森林で活躍する高性能林業機械をはじめ、木寄せ作業の軽減を目的として開発したケーブル搬送装置付グラップル「軽プル搬送楽太」や比例制御遠隔による操作可能なグラップルなどの展示・実演を行いました。今回も全国からたくさんのお客様が来場され、アクティオブースも大盛況でした。

林業分野では、ICT(情報通信技術)の活用が急務となっています。森林管理のIT化は林業従事者の雇用拡大と作業効率化にも寄与することでもあり、IT導入の機運が高まっています。アクティオでも今までの機械レンタルに加え、IT化に向けた管理ソフト開発等を行い、今以上に林業業界の発展に尽力したいと鋭意取り組んでいます。

2016森林・林業・環境機械展示実演会 アクティオ出展概要

会 場：京都府福知山市三和町みわ
長田野工業団地「アネックス京都三和」
会 期：平成28年10月9日、10日
全 体 の 来 場 者：延べ1万7,200人

(出展商品) ■ケーブル搬送装置付グラップル(軽プル搬送楽太)
■0.22mグラップル機/比例制御遠隔操作体験仕様 兼 無線遠隔操縦ロボット操作体験仕様 ■0.25mハーベスタ ■0.25mプロセッサ ■0.45mグラップルソー ■0.22mバックホー型根切機(根こそぎ切るソー) ■0.12mバックホー切株切削機アタッチメント(TOグラインダー) ■3T4WDスタンプ仕様ダンプ ■3T4WDグラップル付トラック(グレートラ) ■スーパーデッキ12m/搭乗体験車 ■オノデラ製作所 (樹)アタッチメント(ガメラG GG-70)



関西支店 舞鶴営業所
所長代理
柳村 考昭
関西支店 京滋ブロック
ブロック長
西村 宣倫

アクティオ担当者より

今年で7回目となる林業展に現地リーダーとして参加しました。今回の林業展は、準備過程から水との戦いでした。7月から会場の地盤・水捌け具合をチェックしており、雨が降れば巨大な水溜りが出来る事が解っていたのである程度の対策を協議し準備していました。しかし、準備前夜から雨が降り続き、会場の水抜きと機械搬入、設営に大変苦労しました。このような状況の中でもアクティオ社員はもちろん、グループ各社の協力もあり、何とか形にすることができました。いよいよ本番を迎える前夜、無情にも雨が降り出し、朝方まで降り続けました。会場は前日に敷いたブラシキがプカプカと浮かぶ有様で、朝から水抜き作業を行い、何とかお客様を迎えられる状態となりました。苦勞の甲斐もあり、足元が最悪な状況にも関わらず沢山のお客様にご来場頂き、喜んで貰うことができたことに加え、林業機械に関心・興味をもって頂くことができました。主催者の方々からもアクティオさんがいなければ展示会は成功しなかったと重ね重ね感謝の言葉を頂きました。営業にとってこれ以上の労いの言葉はありません。色々苦労はありましたが、今回の林業展に参加できたことをうれしく思うと共にこの経験を今後の営業活動にも役立てていきたいと思っています。

Group & Global

グループ&グローバル

PT AKTIO EQUIPMENT INDONESIA インドネシア 新工場 開所式

2016年8月22日(月) PT AKTIO EQUIPMENT INDONESIA (インドネシア)の本社屋・工場完成に伴う開所式を開催いたしました。ジャカルタ中心部よりチカンベック高速道路を東へ37km、G.I.I.C工業団地内に約7,800㎡の本社工場を建設いたしました。アクティオグループでは現在、海外グループ会社が10社ありますが、PT AKTIO EQUIPMENT INDONESIAは2014年9月に設立した6番目のグループ会社となります。主力業務は建設機械レンタルであり、商品ラインナップは、重機、高所作業車、発電機、コンプレッサ、工具等、多岐にわたります。お客様の満足を目指し、サービスと品質に重点を置き、レンタルだけではないアクティオの強みであるレンサルトイングを実践して参ります。経済成長に伴い建築・公共工事が増加しているインドネシア。日系ゼネコンを含む現地のお客様のお役に立つことに加え、インドネシアの経済成長に貢献できるよう、社員一同、邁進して参ります。



AKTIO MALAYSIA SDN BHD. マレーシア 新工場 開所式

2016年8月23日(火) AKTIO MALAYSIA SDN BHD.(マレーシア)の本社移転を行い、新社屋・工場完成に伴う開所式を開催いたしました。AKTIO MALAYSIA SDN BHD.では業容拡大に伴い旧日本社より車で約10分の距離に、旧日本社の約2倍となります8,500㎡の土地を取得し、新たに本社工場を建設いたしました。AKTIO MALAYSIA SDN BHD.は1983年2月にアクティオグループ初の海外拠点としてAKTIO PACIFIC PTE.LTD(シンガポール法人)と同時に設立。マレーシア国内にジョホールバル、ペナン、ペンゲランと営業所を展開しています。主力業務は建設機械のレンタル・販売および修理。商品ラインナップは発電機、コンプレッサ、フォークリフト、コンクリートポンプ、投光機等、多岐にわたります。直近ではペンゲラン地区でのオイル&ガスパラント工事に対応し、大型クレーンの導入も行っております。今後もお客様のニーズに合わせた商品ラインナップの増強、迅速な対応を実現し、マレーシアの経済成長に貢献できるよう、社員一同、邁進して参ります。



レンタル フレキシブルLED電光表示板 デジタル文字シート 商品コード:GGH 91010

スマートフォンやタブレットから文字入力、表示切替が行えるLED電光表示板です。最大9文字まで表示可能で、時間設定することで自動表示切替もでき、文字のスクロールやスピード調整も可能です。また、薄くて軽量のため持ち運びが楽で、設置も簡単です。マグネット内蔵なので金属部なら曲面でも取付けることができます。道路工事の歩行誘導やイベント時のアナウンス等で活躍します。



○シートサイズ:230×835×25mm
○質量:1.2kg(シートのみ)、4.5kg(総質量)



工事現場でも

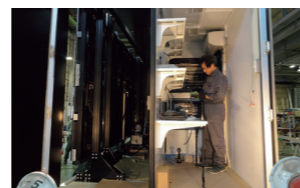
イベントでも

レンタル LEDビジョンカー 商品コード:SZK 02041

発電機(25kVA)を搭載した175インチ全天候型LEDビジョンカーです。待機場所となるコントロールルームを標準装備しながら、車両は場所を選ばない3t車。狭い会場でも設置できます。ビジョンカーを中心に半径50m以内であれば、スマートフォン・タブレットで映像を視聴することが可能です(最大50名)。ライブ中継、WEBカメラ映像、プロモーション再生にも対応でき、現場に到着し映像信号を確認後、即、映像配信を行えます。室内等で使用する場合には、外部電源を繋ぎ使用することも可能です。国体やトリアスロン競技大会へのレンタル実績もあり、様々なイベント現場で活躍します。



○画面サイズ:全長4,000×全高2,000mm(最大地上高4,100mm)



待機場所となるコントロールルーム

報告 水をテーマにした社内体験研修会を開催

6月～9月、全国16ヶ所で若手営業マンをメインにレンタルの実行性を高めることを目的とし、体験研修会を開催しました。この体験研修会は、水・電気・空気をテーマに3年に1サイクルのローテーションで続けており、今年で7回目を迎えました。今年は水をテーマとし、水中ポンプの基本や関連機械の講義、計算方法や機種選定など、実践を踏まえながら行われました。研修会は座学と実技の2日間で、皆真剣に受講していました。アクティオグループではこうした講習会を通して、機械の知識や技術を高め、レンタルの実践に役立てていけるよう、今後も継続していきたいと考えています。



座学、講義風景



実技風景

報告 2017冬季アジア札幌大会のオフィシャルスポンサーになりました!

2017 SAPPORO ASIAN WINTER GAMES
AKTIO
オフィシャルスポンサー

8月18日(木)、札幌市庁舎にて2017冬季アジア札幌大会スポンサーシップ契約の調印式が行われました。契約カテゴリーは、建機レンタル及び備品レンタル。これまで培った建機レンタルの経験と様々なイベント成功を支えてきた付加価値の高いサービスを提供できるよう、プラザ事業部(イベント関連)・北海道支店を始め、関係各所で尽力。今大会を契機に、今まで以上に北海道での事業に力を注いでまいります。本大会の成功を支援することで、2026年冬季オリンピック・パラリンピックの札幌招致につなげられるよう、大会主催者様とともに魅力ある大会につくりあげていく所存です。



- 大会マスコットキャラクター
- 左から
 ■北海道支店 渡辺部長
 ■プラザ事業部 戸張部長
 ■札幌市長 / 第8回札幌アジア冬季競技大会組織委員会会長 秋元克広様
 ■北海道支店 和田支店長 小沼常務

赤いマフラーを巻き、青いマントに身を包んだ自立したがり屋のエゾモンガ。得意のウィンタースポーツで子どもたちに夢をあたえるヒーローです。自慢のマントで飛び回り、大会を盛り上げます。

道を拓く。未知を拓く。

東京はいつまでも未完成だ。かつてそう表現した文豪がいました。なるほど巻頭で紹介した外環道のように、東京は世界有数の都市となった現在も進化し続けています。そのきっかけが、1964年の東京オリンピック。現在の青山通りや六本木通り、環状七号線なども「オリンピック道路」として整備された「遺産」です。いずれもその沿線が流行や文化の中心になっていったことを考えると、道路整備の重要性が改めてわかります。ちなみに現在の道路はほとんどがアスファルト舗装ですが、その理由も東京オリンピック。日本ではそれまで道路舗装はセメントが主流でしたが、セメントは固まるのが遅く、オリンピックに間に合わないため、アスファルトに変更。以降、「道路＝アスファルト」がスタンダードになったとのこと。「問題」が、新たな発展の道を拓くという生きた例かも知れません。

連載コラム 歴史仕事を作る



1964年 東京都内



STOP! 労働災害



私たちアクティオも、安全には十分配慮しておりますが、皆様との意識の共有が大切です。



日頃の安全対策に役立てていただければと思います。

平成27年の労働災害発生状況を見ると、死亡災害、死傷災害、重大災害の発生件数がいずれも前年を下回りました。とくに死亡災害の発生件数は、統計を取り始めて以来初めて1,000人を下回っています。労働災害による死者数は972人で、平成26年の1,057人に比べ85人(8.0%)減少しており、そのうち建設業は327人で、前年比50人(13.3%)減。また死傷者数(死亡・休業4日以上)は116,311人で、

平成26年の119,535人に比べ3,224人(2.7%)減少。建設業では15,584人で、前年比1,600人(9.3%)減となっています。

労働災害が発生する原因は、以下のような「労働者の不安全行動」「機械・物の不安全状態」があると考えられています。今後さらにその発生件数を減らしていくためにも、一つひとつの要因にしっかりと対処していくことが重要となります。

■労働者の不安全行動

1. 防護・安全装置を無効にする
2. 安全措置の不履行
3. 不安全な放置
4. 危険な状態を作る
5. 機械・装置等の指定外の使用
6. 運転中の機械・装置等の掃除、注油、修理、点検等
7. 保護具、服装の欠陥
8. その他の危険場所への接近
9. その他の不安全な行為
10. 運転の失敗(乗物)
11. 誤った動作
12. その他

■機械、物の不安全状態

1. 物自体の欠陥
2. 防護措置・安全装置の欠陥
3. 物の置き方、作業場所の欠陥
4. 保護具・服装等の欠陥
5. 作業環境の欠陥
6. 部外的自然的な不安全状態
7. 作業方法の欠陥
8. その他

労働災害を発生させない、未然に防ぐためにも、職場をきれいにし、働きやすい環境を作ることが大切です。その指標となるのが「5S活動」です。「5S」とは、安全衛生活動の基本となる以下の5つの要素を指し、5Sの徹底を図ることで、職場をよく見るようになり、問題点などが顕在化。職場の安全性向上のほか、業務の効率化や不具合製品の流出を未然に防止するなどの効果が得られます。

- 整理: 要るものと要らないものを分け、要らない物を捨てること
- 整頓: 必要なものがすぐに取り出せるよう、置き場所や置き方を決めて表示すること
- 清掃: 掃除をしてゴミや汚れのない状態にすること
- 清潔: 整理・整頓・清掃を実行し、きれいな状態を維持すること
- しつけ: 決められたことを決められた通りに実行できるようにすること。習慣づけること。

5Sを徹底するためには、きちんとできているか確認・管理するPDCA(Plan・Do・Check・Action)サイクルを行うことが大切です。目標達成までPDCAを繰り返すことで、より質の高い5S活動の実施が可能となります。

厚生労働省では、「第12次労働災害防止計画」(平成25～29年度)の目標である、死亡災害、死傷災害の15%以上減少の達成を目指しています。5S活動のポイントは、5Sの達成を目的とするのではなく業務の一環として習慣化することや、全員が共通の目標を持って活動に参加することです。職場の皆様が一丸となって取り組み、安心・安全な労働環境の創造に繋げていきましょう。

参考: 厚生労働省「安全衛生活動の実施」
建設荷役車両安全技術協会「5S活動」

編集後記

「方言」と「訛り(なまり)」の違い、皆さんご存じですか? 方言は、共通語に対して、ある特定の地域だけで使用される言葉をさし、訛りは、共通語と比べて、地域特有の発音をさします。訛りは方言を特徴づける要素のひとつなので、「訛り」を「方言」と言っても間違いではないのですが、それ以外の方言の要素を「訛り」と言う間違った使い方です。東京に出てきて〇〇年経ちますが、まだ訛りが取れない私…。周りからは、酔っ払うと「めっちゃ訛ってる」と言われます。訛りが抜けなくて恥ずかしいなと思うこともあります。最近「方言女子」という言葉もあり、人気があるようです。たまに聞く言葉であるからこそ、新鮮で魅力的に感じるのが人気の理由とのこと。方言は誰かが作ったものではなく、その土地で暮らす人たちが生活している間に自然にできた言葉です。日本には狭い国土でありながら方言が16種類もあり、地域によって様々な文化が存在します。その土地の方言や地域文化を大切にすることが、日本の魅力を守って行くことに繋がると思いますので、まだ行ったことのない地域にも向歩き、その土地の文化に触れ、日本の魅力を再認識したいと思います。(営業企画室 成澤)



表紙写真

写真は、東京外環中央ジャンクション北側ランプ改良工事で活躍する「AS-2920」。P.2-3では閑静な住宅街で静音・省スペースな工事に貢献する様子を紹介しています。ぜひご覧ください。